

# 脱抑制と易怒性を呈し 支援に苦渋している症例

新潟県障害者リハビリテーションセンター  
発表者:伊勢 拓矢(生活支援員)

平成25年7月20日

# 用語の定義

## ■ 脱抑制・易怒性

感情の抑制がきかなくなり、  
怒りっぽくなった状態



# 事例紹介

Aさん 40代前半 男性

■診断名 : 脳出血（被殻）、高血圧

■障害名 : 右片麻痺、高次脳機能障害（失語症、脱抑制、易怒性）

■発症日 : 平成24年4月

■入所日 : 平成24年11月

■ニーズ : 身体機能の向上  
一人暮らしができるようになりたい  
復職

■家族構成: 独居（受障前独り暮らし）  
両親は県内にて在住。

■職歴 : 関西某酒造メーカー23年間勤務（主に重機操作業務）

■身体機能・ADL:

ADLは全て自立。歩行は短下肢装具を使用。

右上肢は補助的に一部使用可能。

IADLは金銭管理のみ職員がチェックを実施。

■言語機能 : 言語理解は比較的良好だが、言語表出でどもり症状や語彙または書字の想起に時間を要す。



# リハビリテーションセンターでの訓練内容

## コミュニケーション課題

失語症の訓練教材などを使用し語彙訓練や書字訓練を実施。

## パソコン課題

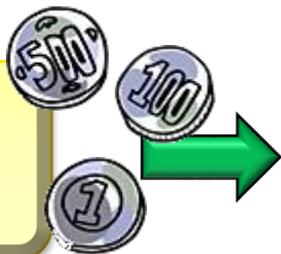
- 受障前はパソコン使用なし。
- パソコンスキル向上のためWord、Excelのテキストを実施。

## OT、STによる個別訓練

調理練習（土曜日と日曜日の2日間）

# Aさんの障害特性

買い物に出かける



脱抑制

買う予定のない物でも  
欲しくなり購入してしまう

家族と話す  
(電話または直接)

嫌いな利用者がいる

易怒性

- 相手の話を聞くのも嫌になる
- 相手の悪い部分を言い続ける
- 突然怒り声で話す

# 本人への支援



## ■脱抑制に対する支援

- ①ノートを1冊用意する
- ②買い物の計画を立てる
- ③レシートを確認する
- ④支出金額・手持残金を記入
- ⑤1ヵ月の使用金額を確認する

## ■易怒性に対する支援

冷静になるために、怒りの対象となるもの、又は人物から距離を取る。



振り返りを行う

少し苛立つ



# <支援を行って改善された点>

- ・ 以前まで見られた**衝動買い**は見られなくなった。

- ・ 振り返りを行うことで、**感情的になる**ことが少なくなった。

# <残されている問題点とそれに対する支援>

- ・ 不必要な物の購入が多いため、本当に必要かどうか**話し合っ**て**判断**ができるように支援をする。また高額な物の購入の場合は担当職員に相談してから購入するかどうか決める。

- ・ 嫌いな人に対して**些細なこと**で怒ることがある。復職を目指す上で**社会性を身につける**ことの大切さを伝え、感情的にならないように支援をする。

## <今後の支援目標>

- 身体機能、高次脳機能の向上
- 対人関係能力の向上
- 金銭管理や健康管理など一人暮らしが可能な能力の獲得
- 復職



# ご清聴ありがとうございました。



資料制作者：伊勢、北上